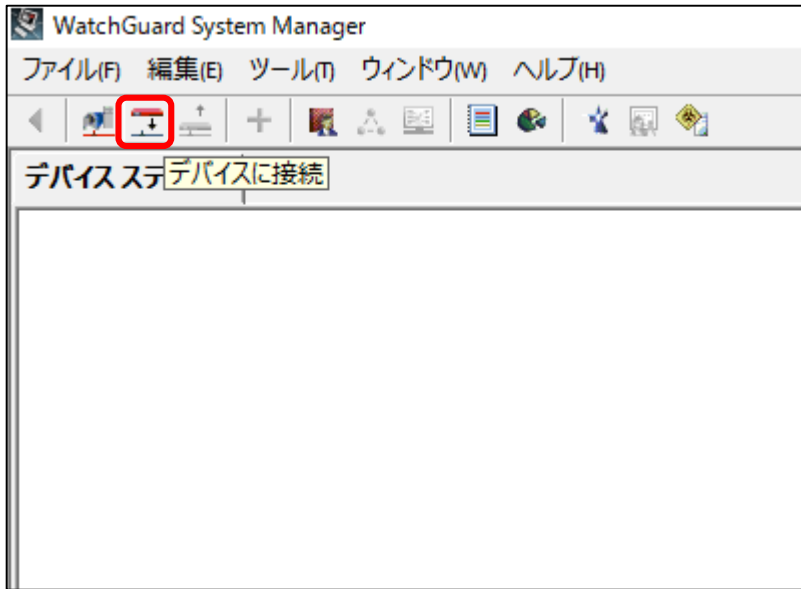


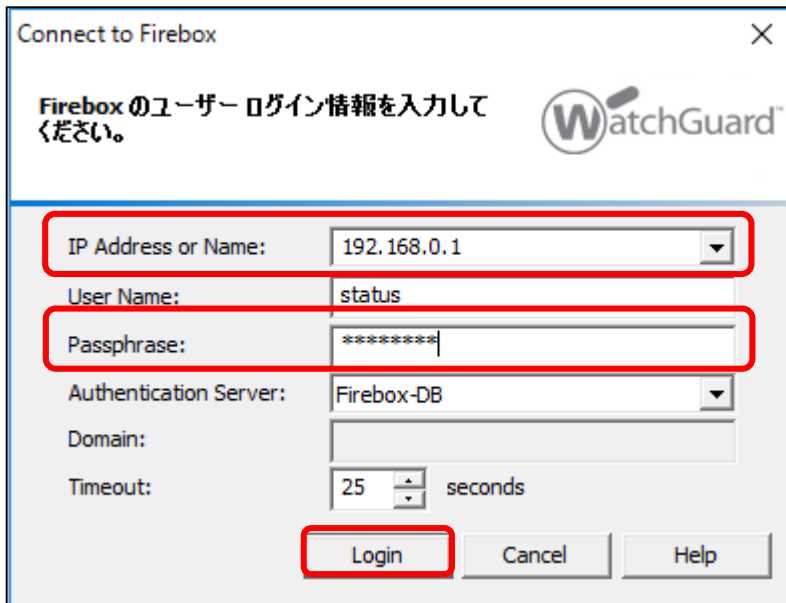


# Watchguard HTTPプロキシ例外 設定方法について

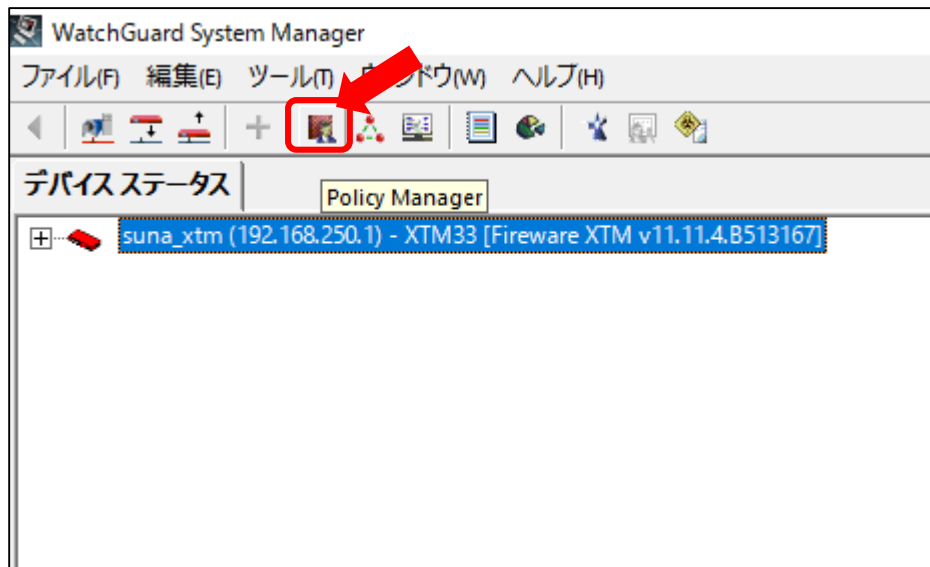




「**Watchguard System Manager**」を開きます。  
左側の「**デバイスに接続**」をクリックしてください。

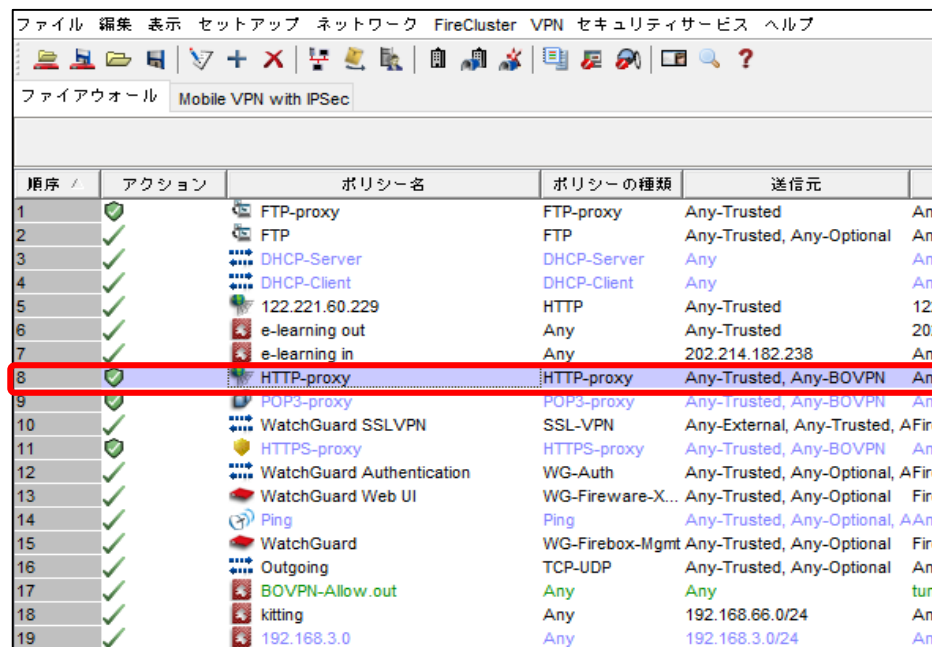


ログイン情報の入力画面になります。  
「**IP address or Name**」に**IPアドレス**  
「**Passphrase**」に**statusのパスワード**  
を入力して「**Login**」をクリックしてください。



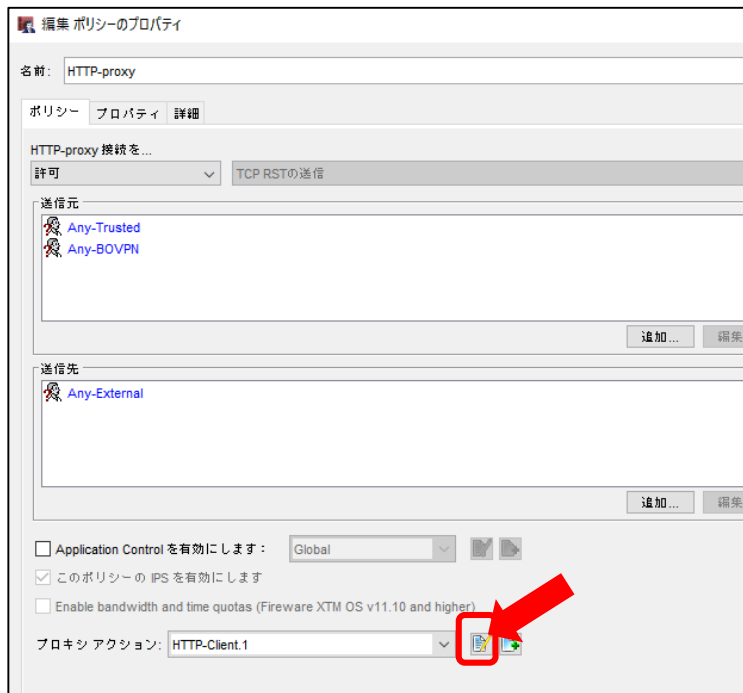
「デバイスステータス」上に機械の情報が表示されます。

表示されたデバイスをクリックした状態で「**Policy Manager**」をクリックしてください。



詳細な設定画面が表示されます。

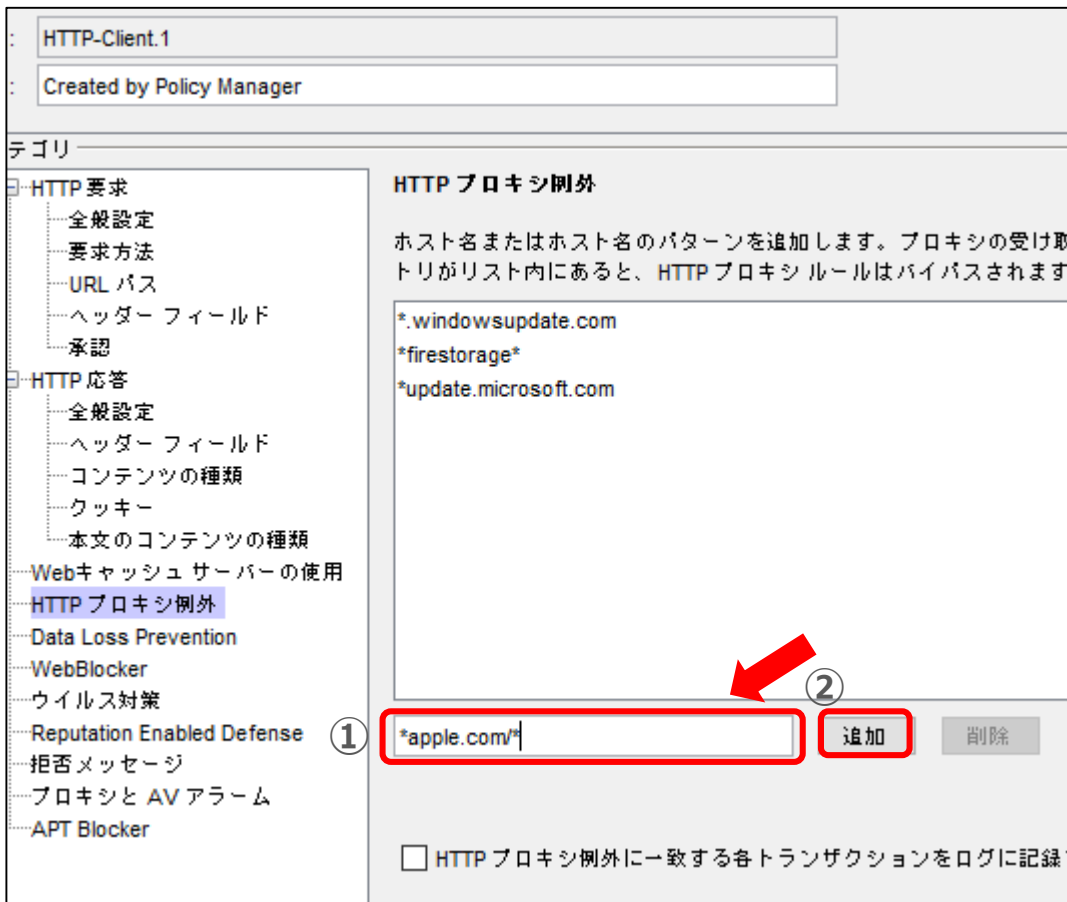
一覧の中から「**HTTP-Proxy**」を選択し、ダブルクリックしてください。



プロパティ画面が表示されますので、一番下の「**プロキシアクション**」のアイコンをクリックしてください。



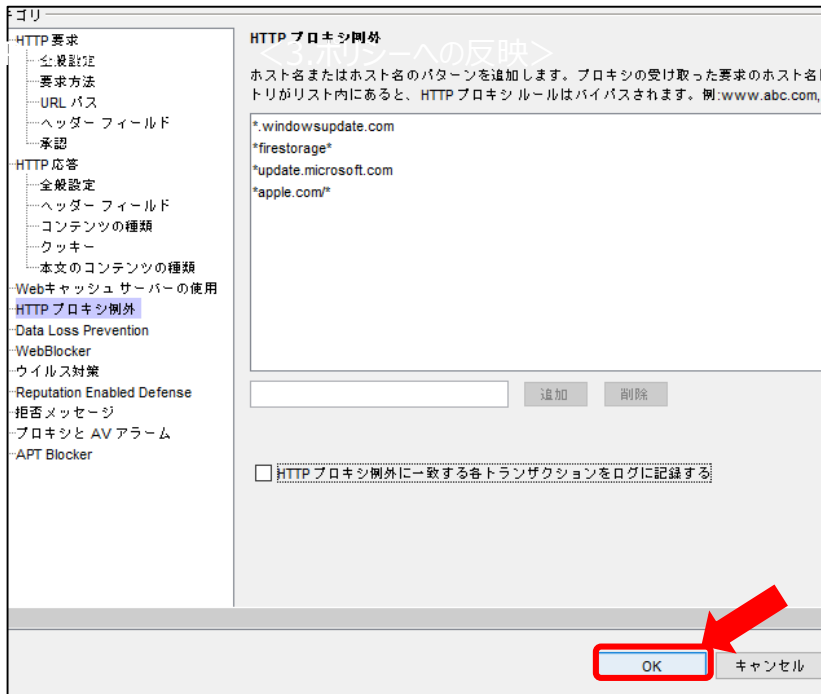
構成画面が開きますので「**HTTPプロキシ例外**」をクリックしてください。



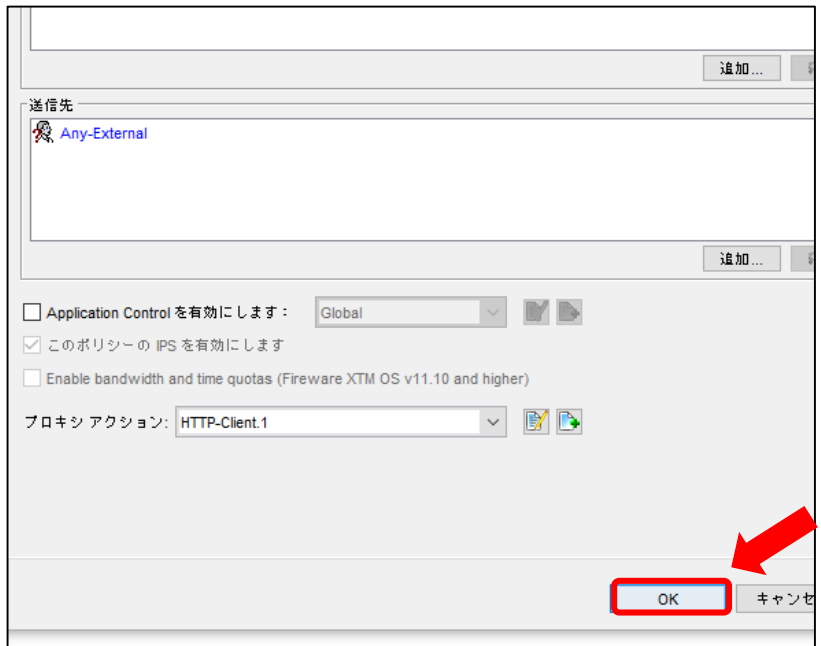
「追加」の隣の空欄に該当のアドレスを入力します  
(例) apple.comのアドレスすべてを対象・・・\*apple.com/\*

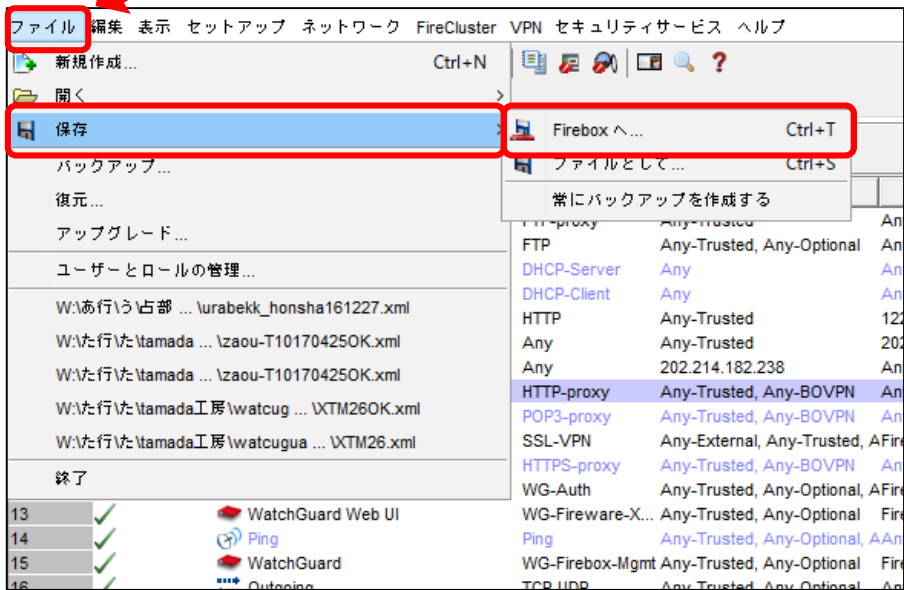
\* (アスタリスク) は任意のアドレスをすべて指定するといった意味となります

http://google.co.jp\*とした場合、http://test.google.co.jpは許可されません  
「\*google.co.jp\*」であればアドレスより左側も許可扱いになるので許可されます

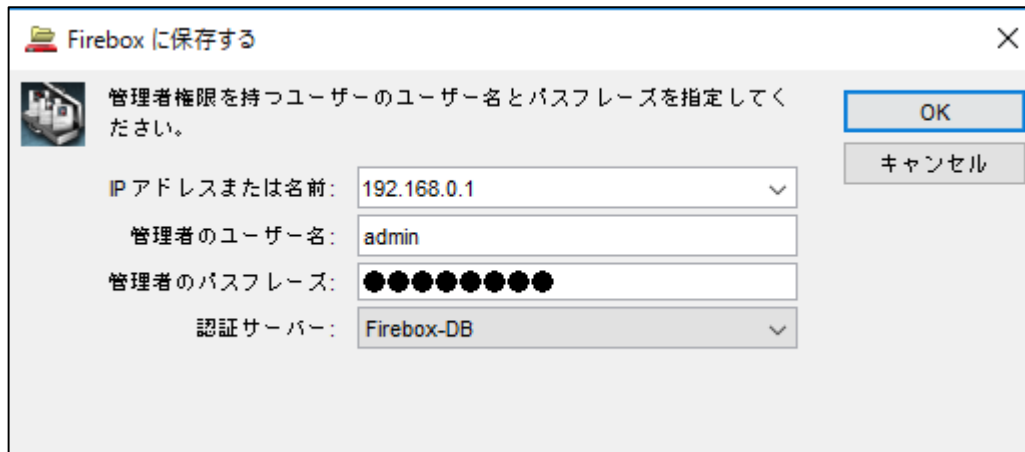


入力が完了したら、  
「OK」で前の画面に戻ります。  
さらに「OK」をクリックして一覧画面に  
戻ってください。





設定を保存します。  
 左上の「ファイル」→「保存」→「Fireboxへ」を  
 選択してください。



「**admin**」のパスワードを  
 入力し、「**OK**」をクリックしてください。

「**設定が保存されました**」と表示されれば  
 完了です。

